

褥瘡との関わり方

4階 杉山 匠

なぜこの事例を選んだか

- 4階では褥瘡がある利用者が9名（亡くなった方も含む）
いらっしやり中々改善傾向になかったこと
- 自分自身褥瘡に関する知識・技術が無かったため



今回の事例を通して学んでいきたい

4階の職員で具体的に取組んだこと

- トイレ誘導時の陰洗
- プロペト塗布
- 臥床時間の確保（特に午後）
- 職員少ない日の飛ばしの中止



排泄表や業務日誌で共有

4	プロペド	5	プロペド 臥床
(簡単)			
4	プロペド	4	プロペド 臥床
4		5	
5		5	
4	プロペド 臥床	5	プロペド 臥床



その結果

- 褥瘡のある利用者の方が9名→3名に減少した。
- 褥瘡にならないように早期予防の意識が付いた。

改善から予防へ

- 褥瘡が改善しても再発してしまう・・・
(改善したら終わりと思っている)

再発を防ぐためにも・・・



マルチグローブ

以前から居室や事務室にあったが



使用することがあまりなく活かせていなかった。



このきっかけで使用して頂けるようにしたい！！

結果

- 褥瘡が再発することが少なくなった。
- マルチグローブについて
→ 共有をはかったが行ったださる職員とやっていない職員で差が出来ている。

考察

- もし褥瘡が悪化していったら……………
→利用者^の生活^の変化^や職員^の負担^増へ繋がる。

褥瘡予防自体は難しいことではない。



この事例を通して学んだこと 活かしたいこと

- 褥瘡は継続的な対応が必要
- マルチグローブについて
- 改善しない場合は多職種との連携



ご清聴ありがとうございました

